

■喜多七大夫(初世) 能役者。新時代に対応し、世阿弥後300年近くたって初めて登場する能の新派喜多流の祖となった。
きたしちだゆう 生。堺の目医者内堀某の子。
秀吉太政大臣1586=

秀吉全国統一1590= 4歳 :

文禄の役・ 1592= 6歳 : 能を舞い、金剛大夫弥一に入門して養子となり、

関白秀次事件1595= 9歳 : “金剛方七ツ大夫”として興福寺薪猿楽に出演(薪能番組)したのが文献上の初出。

関ヶ原の戦い 1600=14歳 :
朱印船制始 1601=15歳 : 元服して金剛三郎を名乗る。

糸割符法始 1604=18歳 :
徳川家康隠居1605=19歳 : 弥一が死去して、金剛大夫となる。

家康駿府退隠1607=21歳 :
金春八郎安照の女婿となった後、

琉球使始 1610=24歳 : 京都で勸進能を興行。

支倉常長渡欧1613=27歳 :

大坂夏の陣 1615=29歳 : 大坂夏の陣に豊臣方に荷担し、落城後は一時引退したと伝えられる。
徳川家康没 1616=30歳 :

菱垣廻船始 1619=33歳 : *徳川秀忠上洛の際、金剛七大夫として復帰、伏見城で演能。
支倉常長帰国1620=34歳 : 江戸御成橋での4日間の勸進能を境に金剛座(金剛流)を離れ、独自の活動をするようになったらしい。

元和大殉教 1622=36歳 :

寛永寺創建 1625=39歳 : 新將軍となった家光にも重用され、

紫衣勅許無効1627=41歳 : *この頃から北七大夫と称する。

多くの秘曲・習い事を上演、追従する大名も多く、既存四座を圧倒するほど活躍するうち、異例の出世と第一人者的な振る舞いが災いして、

糸割符拡大 1631=45歳 :
徳川秀忠没 1632=46歳 :

鎖国令Ⅱ 1634=48歳 : 「関寺小町」の上演を理由に閉門を命じられたが、
参勤交代始 1635=49歳 : 許され、

その後も同様に活動を続け、

寛永飢饉始 1640=54歳 :
家光鎖国完成1641=55歳 :

市中諸法度 1648=62歳 : *流派が認定されるものの、
慶安御触書 1649=63歳 : 勸進能のため上洛の途中、桑名で馬方を殺害する事件をおこし、桑名侯と対立、閉門を命じられた。まもなく許されたが、四男の十大夫正能が活躍するようになったこともあり、事実上の引退となり、
徳川家光没 1651=65歳 : *徳川家綱將軍宣下祝賀能に出演のあとの演能を最後に正式に引退して、

野郎歌舞伎始1653=67歳 : 江戸で没した。
1649生れで71で没した説の場合、それぞれ4年加える。